

歪検査器

model: SVP-250

透明物体内の歪を色と模様で測定できます。

ガラス、プラスチックなどの素材は製造工程において生じる歪(応力)が製品の品質に大きく影響を及ぼします。

特に強い引っ張り応力が存在する場合などは製品の破損につながり、安全対策上厳重な品質管理を必要とします。

一方、強化ガラスの場合は製品全体に均一に圧縮応力が分布していなければ安定した強度を発揮することができません。

SVPシリーズは肉眼では見ることのできないこれらの歪の状態を容易に観察できる装置で、製品を直に見ながら色と模様で歪の分布を観察し、歪の強さを測定することができます。



- 試料を直視しながら色と模様で歪を観察、測定が可能
- 卓上型でコンパクトな形状。
- 別売りの並列膜型歪標準器またはセナルモンキットを使用する事で定量が可能。

観察/測定方法

- ①直交ニコル法
- ②鋭敏色板法

オプション

- ①並列膜型歪標準器
- ②セナルモンキット

仕様

測定範囲	: 0-280nm
分解能	: 3nm
精度	: 5nm
光源	: LED
試料	: 最大80*80mm
電源	: AC100V 210W
寸法	: 200*250*400mm
重量	: 6kg

有限会社 折原製作所

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-47-15

TEL 03-3985-9531 FAX 03-3985-9532

<https://www.ori-hara-ss.co.jp> e-mail ori-hara@ori-hara-ss.co.jp